
エレベーター

ドボク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エレベーター

【Nコード】

N1108F

【作者名】

ドボク

【あらすじ】

東京〰丸の内にある30階建てのビル「徳屋建設」にいる人々は様々な事情を抱えている。そしてその人達が乗ったエレベーターに何かが起こる。

それぞれの事情

第1章 それぞれの事情

1階〜17階 斎藤 孝

東京〱丸の内 サラ

リーマンが毎日世話しなく行き交う場所に今年で26歳になるばかりの斎藤 孝は、さいとうたかしひととき目立つ30階建てのビル「徳屋建設」で忙しい日々を送っている。

今日も残業になるけどしかたないよなあ ボクみたいな男がこんな一流の会社に入社することができたんだから残業ぐらい仕方ないな。

ため息まじりに孝は近くのコンビニで晩飯を買いあさっていた。

孝は青森生まれの田舎で育った。

孝の実家は農業を営んでおり農家を継ぐのがいやで東京を夢見て上京して来た。

東京に行けばいろんな楽しいことができる！ ボクはこんな田舎で一生を過ごすのはゴメンだ！、

親の反対を押し切り18歳の時に東京に来た。最初は大変だった。地元の訛りがぬけておらずボクのしゃべり方がよく目立った。それに内気な性格な上、色白の細い体なので周り浮いていたと気があった。今もそれが変わらず社内でも

「モヤシ」のあだ名でバカにされる時がある。何度会社を辞めようと思ったか… しかし親に見返すくらいまではいかないとこのままでは負け犬になってしまう。あと数年がんばればボクにも何かが見つかるハズ！ と自分に

喝を入れ会社のエレベーターに入った。

23階 1階 脇田 康夫

今年で愛する妻と結婚して25年目になる脇田康夫^{わきた やすお}は深いため息をしていた。今年で52歳になり会社では課長にまで昇格したのはいいが、そこが私の転落人生が始まった。課長になってから半年後会社は不況の煽りにやられて大幅な人員削減になり主に中年社員その餌食となった。

大半の社員がクビとなったが私は何とかして再雇用にありつけた。

だから私はまだ他の人よりは幸せだったのかもしれない。ついこの間私と仲のよかった友人が大型トラックに身を投げ出したそうだ。

彼は4人家族子供2人は有名な私立の大学と高校に通っているらしい。

しかし、会社のリストラにより家の収入はゼロとなり大学も高校も授業料が払えず中退になりかけたらしいが、彼の身投げにより大量の保険金が入ったそうだ。私はショックを隠

しきれなかった。あの友人がそんなことでこの世を去るなんて…

そこで私も決意した。妻と息子のために私も死ぬことにした。

今の私の収入では大学に行かすどころか食事にもありつけない。

だから私も加入している保険会社のお金が入れば今後の生活は安定する。こうして夜遅くまでいるのも最後まで働き続けた私なりのケジメである。今から会社を出てそこら辺の道路にでも身を投げようか…

恐怖心はない愛する妻

と息子のためなら！

康夫は窓から見える風景を眺め

一礼をしてからエレベーターに向かった。6階、13階 脇田 美
弥子 今日はいく

つの仕事をしたのだろう。

会社のアルバイト

清掃員である脇田 美弥子は遠い目をしていた。夫の収入が今年に
入ってからいつもの4ぶんの1程度まで落ちた。

夫に聞いただと、何でもない心配はいらない、の
一点張りあの人は昔から会社のことを家庭に持ち込まない人だから
これ以上聞いても無駄だった。

しかしこの状態では生
活費がまかなえないから私も夫に内緒でアルバイトをはじめた。

息子は昼は学校で夜は塾だし夫の帰りも11
時過ぎだから2つから3つのアルバイトをしている。

昼はスーパーのパート夜は会社の清掃員がカラオケのバイ
ト。最初はいいペースでいけたんだけど最近

は体に疲労がたまり今も睡魔と戦っている状態…。
い
つになったらこの生活から抜け出せるのかしら…

美弥子は清掃道具を持ちエレベーターに
向かった。

それぞれの事情（後書き）

初めての小説なのでどうかよろしくおねがいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1108f/>

エレベーター

2010年11月3日01時54分発行